# TTC 提案山行実施記録表　2011年2月1日　報告者:長谷川洋文

| | |
|---|---|
| 山行名 | 秩父　宝登山と長瀞岩畳散策　[497m/埼玉県] |
| 実施日 | 2011年1月29(土)　日帰り　マイクロバス利用 |
| 天候／参加人員 | 天候:晴れ　レベル:★　参加人員: 15 名 (男4名/女11人) |
| ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ | CL／計画:　SL:　会計:　救護:　氏　名　削　除 |
| 参加メンバー | A 班　☆<br>B 班　☆　氏　名　削　除 |
| 費用<br>**¥5,500－** | ﾏｲｸﾛﾊﾞｽﾚﾝﾀﾙ料¥46,000　燃料代@120×(300+50)/5=¥8,400　ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ謝礼¥18,000<br>高速料金@2,800(相模湖 IC→花園 IC)＋@2,800(花園 IC→相模湖東 IC)＝¥5,600<br>旧新井家住宅入園料@200×15=¥3,000　駐車料金¥1,000<br>**費用合計¥82,000**　TTC ｶﾝﾊﾟ金¥500　**集金@5,500×15＝¥82,500－** |

歩行・行動時間

| | 歩行時間 | 休憩時間 | 行動時間 |
|---|---|---|---|
| ガイドブック | 2:30 | | |
| 計画 | 3:20 | 3:10 | 6:30 |
| 実行 | 3:00 | 1:35 | 4:35 |

行動時間比(実行／計画)0.71
歩行時間比(実行／計画) 0.9
歩行時間比(実行／ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ)1.2

## 実行コースタイム記録

R412　圏央道・関越道　R140　0:55

厚木ｺｰｶﾄﾞｰ前＝＝＝相模湖 IC＝＝＝狭山 PA＝＝＝花園 IC＝＝＝＝宝登山山麓駅駐車場――宝登山奥宮神社

6:10　7:20　7:50　8:00　8:45　9:10　9:25　10:20　10:25

0:05（昼食）　0:30　0:35　0:05　0:15　0:35　R140

―宝登山山頂――宝登山山頂駅――宝登山神社――旧新井家住宅――長瀞岩畳――宝登山山麓駅駐車場＝

10:30　11:10　11:40　11:45　12:20　12:25　12:30　12:55　13:10　13:25　14:00　14:15

関越道・圏央道　R412

＝＝道の駅はなぞの＝＝＝＝花園 IC＝＝＝狭山 PA＝＝＝相模湖 IC＝＝＝厚木ｺｰｶﾄﾞｰ前

14:45　15:20　15:25　15:50　16:25　17:00　18:10

## コースの概要、特記事項、反省事項等

秩父地方の天気予報は曇りで降水確率４０％と、少々心配であったが、良い方に予報が外れ、当日は風の無い快晴であった。途中関越道は込んでいたが、何事も無く宝登山の駐車場に着く。

ここでトイレと準備体操を済ませ。林道のような登山道を登っていく。途中、あちこち木が伐採され、そのあとに、もみじやつつじなどの木が植えられていた。数年後には宝登山は、もみじでも有名になるかもしれない。頂上に近づくと急な石段が現れ、そこを登りきったところに奥宮神社がある。小さな神社である。その数十メーター先に、宝登山の頂上があり下に蝋梅園が広がっている。少々早かったが景色がいいので、ここで昼食をとることにする。頂上はベンチもあり大変展望がよい。周りの秩父の山々が見渡せ、中でも両神山と武甲山がみごとに見えた。昼食後、蝋梅園を散策しながら山を下る。３分から５分咲きのロウバイがみごとに咲き、ほのかな香りを漂わせていた。

ここには、原種の「和蝋梅」それから品種改良された「素心蝋梅」「満月蝋梅」の三種類が見ることができるそうである。ひとつだけ見てもよく解らないが、こうして３種が並んでいるとその違いがよくわかる。他にも、今にも咲だしそうな紅梅のつぼみと、福寿草が満開であった。

宝登山はすぐに終わってしまったので、登山口に立派な社殿を構える宝登山神社、江戸中期の秩父地方の代表的な養蚕農家の住居で国の重要文化財に指定されている旧新井家住宅（長瀞町郷土資料館）、長瀞岩畳などを散策する。長瀞岩畳はつららなども相まってみごとな景観であったが、非常に寒い。そうそうに立ち去り、商店街で買い物をする。みな手におみやげを持ち帰途につくことにする。

インターまでの間に道の駅があったので、当然のごとくそこに寄るが、駐車場は満杯ですごい人である。地元の物産はもとより、下手なスーパーより大きい農産物売り場や、大きな温室を備えた園芸売り場まで備わっていた。また、福寿草の展示会や三条燕の刃物の展示会なども開かれており、もう立派なショッピングモールである。

帰りは予想に反し道路がガラガラで、予定よりも早く着きそうになり、このままでは高速料金の通勤時間帯割引が受けられないので、狭山ＰＡなどで、少々時間を潰した後帰途に着く。今回の山行はロウバイが目的だったので、歩き足りない方もいらっしゃったと思われるが、たまにはお花を眺めながら、のんびり歩くのもいいものである。